

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

## 主な記事

- ① 第73回厚真町成人式開催
- ② 成人式答辞/厚真町の教育活動紹介
- ③ 厚真町で合宿/ATSUMA PRIDE プロジェクト成果発表会/ソフトボール大会中止
- ④ 就学援助案内/育英資金案内/定例教育委員会
- ⑤ 図書室だより
- ⑥ 放課後子ども教室活動紹介



## 第73回厚真町成人式開催

### 激動の時代を生きる成人へエール

第73回厚真町成人式が1月10日（日）に総合福祉センターで開催されました。今年は平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方36人が対象で、28人が出席し、社会人としての第一歩を歩み出しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクの着用や、ソーシャルディスタンスの確保など、例年とは異なる形での開催となりました。式辞では、遠藤教育長が「新時代に適応するためには、自分自身で課題を見つけ、解決する力が必要であり、自分の意志で新たな未来を創っていくことを期待します」と激励がありました。

このあと、誓いのことばを畑田真穂さん、交通安全宣言を浅野鈴夏さんが行い、宮坂町長から石崎誇虎さんに厚真町からの記念品が手渡されました。式典のしめくくりの答

辞では、成人を代表し、櫻井郁也さんが新成人らしい決意と覚悟を述べました。



答辞



ミニ同窓会



式辞



記念品贈呈



誓いの言葉



交通安全宣言

式典終了後のアトラクションでは、成人者が小中学生時代の写真や恩師からのメッセージを織り交ぜた動画を公開。その後、オンライン会議機能を活用したミニ同窓会で、成人者や中学時代の恩師とオンライン交流の機会があり、輝かしい門出に花を添えていました。

## 答 辞

成人者としての決意を胸に

本日は、コロナウイルスの流行により式を行うのが難しいなか、このような素晴らしい式典を開いてくださりありがとうございます。また、宮坂町長様をはじめ、たくさんのご来賓の方々のご出席をいただき、心からお礼申し上げます。

お恥ずかしながら、私は早生まれのため成人式の今日現時点でまだ成人になっていませんが、恩師である児島先生から、ご指名をいただいたので精一杯あいさつさせていただきます。無事成人式を迎えられた私ですが、中学校の卒業文集の10年後の自分へという欄には、ただひたすらに彼女が欲しいと書かれており、自分の幼さを痛感いたしました。現在は3年間交際している女性がおおり、当時の自分に少しでも自慢ができそうです。しかし、そんなことを書いていた私も当時から農業に携わりたいという夢がありました。現在まで、その夢に向かって歩み続け、人工授精の資格を取得するまでにいたりしました。私が農業に関わりたと思ったのは、中学校の職場体験で厚真町のある肉牛農家さんにお邪魔したのがきっかけでした。つらいこともたくさんありますが、どんな状況でも必要とされる1次産業にとっても魅力を感じたからです。その後も、農業に関わりたいという私をたくさんの方々が実習に受け入れてくださり、たくさんの方が私の夢を応援してくれました。

将来私には大きな夢があります。いつか、お世話になったここ厚真町で新規就農をしたいと思えます。現在農業関係者は減少するばかりであり、深刻な人手不足が問題視されています。そのため、微力ではありますが私もその問題の解決の手助けをすることが、私のできる最大限の厚真町への恩返しだと考えます。そのために、今年の4月から就職する十勝の牧場で沢山の経験を積み、今よりもっと大きな男になってから帰ってきたいと思えます。

結びになりますが、こうして成人を迎えしっかりとした夢を持てるのも、私を育ててくれた両親、先生方やここにいる仲間たちをはじめとした、たくさんの方々のおかげです。本当にありがとうございます。これから、ここにいる仲間たちはそれぞれ別の道に進んでいきますが、全員、厚真町で学んだ厚い真心とたくさんの方々への感謝を胸に歩んでいこうと思えます。ふるさと厚真に誇りを持ち、厚真が発展することを心から願うとともに、将来の新成人の模範となるべく精進していくことをここに誓い、答辞といたします。

## ★厚真町の教育活動紹介★

オンラインで英会話

### 英語で厚真町をPR

12月15日(火)、18日(金)の両日、上厚真小学校、厚真中央小学校の3、4年生がオンライン通話機能を活用した英語活動を行いました。

写真や資料を見せながら、画面上の地域の方々に厚真町の観光名所や特産品を英語で分かりやすく紹介することができました。



397年ぶり!木星と土星の超大接近

### 冬の星空観望会

12月17日(木)、青少年センター天文台で実施した「冬の星空観望会」に56人が参加しました。

木星と土星は約20年周期で接近し、同一視野に見える最接近は、実に397年ぶり!

天文台からの観測は、日没から数時間しかなく、さらに天候などの条件もあり、木星と土星を見ることができた方は、数人でしたが、火星やすばる、秋の四辺形などの観測やプラネタリアムを見て、参加者は、冬の星空を堪能しました。



天体を見て驚きの声をあげる親子

地域のかて子どもを育てる

### 長期休業中の学習会開催

12月に中央地区、1月には厚南地区で学習会を開催しました。参加者からは、「普段とは違う場所で勉強すると集中できる」という声が多く聞かれました。講師に地域の方を招き、地域と子どもがにつながるよい機会になりました。



中央地区の学習会



厚南地区の学習会

# 女子円盤投日本一 辻川美乃利選手 東京五輪出場目指し、厚真町で合宿

陸上競技女子円盤投の2019年日本選手権優勝者である辻川美乃利選手（内田洋行）が昨年12月に厚真町で強化合宿を行いました。辻川選手は、東京オリンピック出場を目指しており、「<sup>とうてき</sup>投擲競技の専門家である大垣崇さん（豊沢）から日本一の技術を学ぶために厚真町に来ました」と話し、スポーツセンターを拠点に5日間ほど汗を流しました。厚真スローイングチーム（町内の陸上少年団）の選手との交流も行われ、チームの小中学生は、日本一の選手の練習方法や技術などを学びました。昨年、円盤投でジュニアオリンピックに出場した中島愛梨さん（厚真中2年）は「一流選手は動きが違う。辻川さんに少しでも近づけるように冬の練習を頑張りたい」と意気込んでいました。



オリンピック出場を目指す辻川選手



厚真スローイングチームとの交流

年、円盤投でジュニアオリンピックに出場した中島愛梨さん（厚真中2年）は「一流選手は動きが違う。辻川さんに少しでも近づけるように冬の練習を頑張りたい」と意気込んでいました。

## ふるさとに誇りを アツマプライド ATSUMA PRIDEプロジェクト成果発表会 —ふるさと教育 厚真中学校3年生—

厚真中学校3年生がふるさと教育の一環として取り組んできた「ASTUMA PRIDE プロジェクト」の成果発表会が、12月17日（木）同校の体育館で開催されました。当日は、実際に取材を受けた事業者の方々のほか、宮坂町長や遠藤教育長も参観し、本プロジェクトの成果と課題を共有しました。

生徒からは、動画を作成する際に工夫したポイントやこだわったところについての発表のほか、視聴回数が伸びた要因や興味を示した年代、実際に商品を購入した数等、SNSに広告を出した結果分析についても報告がありました。成果発表会に参加した事業者からは、「今回、中学生の視点で厚

真町の魅力を町内外へ発信していただき、うれしいです。この取組を行った皆さん自身が厚真町の宝物だと思います。」などの感想が述べられ、生徒にとっても事業者にとっても、実りある時間となりました。



自家製酵母のパン Chillin'



株式会社たのしい



かまた木炭



池野さんのお米



土居農園

動画公開中!

## 第26回室内ソフトボール大会の中止について

令和3年2月8日（月）～2月12日（金）に開催を予定しておりました標記の大会について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止することが決まりましたのでお知らせいたします。

問い合わせ  
厚真町スポーツセンター ☎27-3775



# 就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を入学前に行います。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
  - ①お子様が令和3年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
  - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
  - ③経済的に困りの世帯
 ※新入学用品等の扶助を受けた後、町内の小・中学校に入学しなくなった場合や、前年(令和2年)の収入が決定した段階で基準を満たさない場合は、返還手続きが必要になります。
- 援助額
 

1. 小学生	
(予定) 新入学用品費	51,060円
学用品費	11,630円
2. 中学生	
新入学用品費	60,000円
学用品費	22,730円
- 援助時期等 令和3年3月中旬  
(保護者の口座に振込みします)
- 申込期限 令和3年2月12日(金)
- 必要書類
  - ①準要保護児童生徒認定申請書(教育委員会にあります)  
(町HPからもダウンロード可)
  - ②世帯全員の、2019年1月から12月までの収入を証明する書類
  - ③印章
  - ④振込先の口座がわかる通帳写し
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月に同額の新入学用品等を援助します
- 問合せ 学校教育グループ  
☎27-2494

## 厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

### ●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院(防衛大学校等を除く)
- (2) 高等専門学校(第4・5学年及び専攻科)
- (3) 専修学校専門課程(2年以上4年以内)
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

### ●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

### ●貸付月額

月額6万円以内で1万円単位に希望する額

### ●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

### ●貸付方法

希望される金融機関の口座(保護者等)へ毎月上旬にお振込いたします。

・通常貸付: 初回貸付は7月中旬(4～7月分)

・早期貸付: 初回貸付は6月中旬(4～6月分)

※早期貸付の場合、前年(令和元年)の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

### ●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

### ●提出書類

- ①申請書(教育委員会にあります)
- ②在学証明書
- ③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)
- ④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)
- ⑤課税資料閲覧承諾書(申請書に添付します)

### ●申込期限

令和3年5月31日(月)まで

(ただし、早期貸付(6月)を希望される場合は4月30日(金)までに申請してください。)

### ●申込・問合せ先 学校教育グループ

☎27-2494

## 12月定例教育委員会報告

12月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

### ◆報告事項

令和2年度第3回厚南地区学校運営協議会/食物アレルギー研修会/教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会/厚真中学校ふるさと学習成果発表会//放課後子ども教室冬の特別教室(ほか4件)

### ◆同意

厚真町教育委員会表彰について

### ◆議案

教育委員会事務局職員の人事について

### ◆協議

令和3年度教育費予算要求内容について

厚真町教育振興基本計画(改訂版)について

### ◆その他

総合教育会議の開催について(ほか2件)

★問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

# 図書室だより

青少年センター図書室  
Tel 27-2495 (平日)  
Tel 27-2321 (土日)

## 家庭内おはなし会のおすすめ

12月末と1月初めに、小、中学生の希望者による学習会が開かれました。図書室ではその会場の一部を借りて読書感想文コーナーを設けました。厚真町では毎年冬に読書感想文コンクールを開催しています。冬休み終わり近くになって、何を読んだらいいのかと困っている子どもがいるので、そのお手伝いになればと、今年初めて、コーナーを作らせてもらいました。しかし当日になってみると、読書感想文用の本は小学校の図書室で借りているので、息抜きがてら本を読みにくる子どもが多かったです。

その休憩時間に、一人の男の子が自分で選んだ絵本を一文字ずつ確かめるようにだれかに聞かせるでもなく小さな声で読み始めました。私は隣にいたので、ほかの子どもにも本を紹介したり貸し出したりしながら、そのお話を聞いていました。そのお話は絵本にしては字数が多かったのですが、その子は最後まで読み終えることができました。読み終えた頃、休憩時間も終わったのでまた勉強会に戻って行きました。いつもは、おはなし会を開催し、たまに読み手として参加している立場なのですが、短い時間であってもこうして読んできかせてもらえ、新鮮な楽しさを味わうことができました。

皆さんも、ご家族やご友人に、絵本やお話を声に出して読んでもらうと、心のリフレッシュにつながるので、ぜひおすすめします。

### ★青少年センターの床にご注意★

厚真町でも積雪のシーズンになりましたが、毎年、この時期になると青少年センターの床で足を滑らせてしまう方がいます。靴についた水分と、靴底の素材、青少年センターの床（特に図書室）は非常に相性が悪く、大変滑りやすい状態になります。

入館される際は、靴底の雪・水分を十分に落としてからご利用ください。

### 引き続きご協力ください！

- ・体調が悪い時、または家族の中に体調が悪い方がいる時は、外出を控える。
- ・図書室へ来るときは、マスクを着用して、入口で検温、消毒、緊急連絡先の記入をする。
- ・図書室内では常にマスクをして会話を控え、短時間の利用にとどめる。

### 2月の休館日

11日(木) 建国記念の日  
23日(火) 天皇誕生日

- 青少年センター図書室開館時間  
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)  
午前9時から午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室  
午前9時から午後5時(月～日)  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

2月の「おはなしのびっこ」は 25日(木)10時30分開始  
場所は、青少年センター1階絵本コーナーです。

# ☆放課後子ども教室☆

新しい1年が始まりました。今月19日には新学期も始まり、6年生と一緒に活動ができるのも、片手で数える程度の回数となります。1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

年末、2学期最後の子ども教室は、毎年恒例のしめなわづくりです。町内の農家さんからいただいた稲わらを使い、2021年の無病息災を願ってつくりました。最終日のこと、各自、持ち帰る分をつくったあと、残った材料を使ってまだ手を動かしている子がいます。ちょっとのぞいてみると、持ち帰り用に準備したビニール袋には、学校の先生方の名前が書かれていました。「先生たちに渡してくれる！」と職員室の扉をノック。手渡された先生方からは「ありがとう！家に飾るね」とお礼を言われ、照れながらもうれしそうにしている子どもたちでした。

12月19日（土）、20日（日）の2日間、冬休みに先駆けて、子ども教室・冬の特別教室を実施しました。19日（土）は、『むかしの厚真にタイムスリップ！森のおしごと&手しごとデイキャンプ』と題し、前半は旧軽舞小にある軽舞遺跡調査整理事務所で様々な展示物に触れ、後半は厚真町環境保全林で枯損木の整理など、森の手入れを体験しました。整理事務所では、学芸員の奈良さんから町内の地層の話や貴重な文化財の解説、展示資料の説明を受け、資料館の中を探検して歩きました。大きなノコギリで丸太を切ってみたり、五右衛門風呂の釜の中に入ってみたり。大人にはなじみのあるダイヤル式の電話や、レコードをかける蓄音機も、子どもたちにとっては未知の道具だったのでしょうか。興味津々で、実際に触って体験していました。

後半の保全林での活動は、散策路を横断して倒れている木を発見し、約1.5メートルの間隔で切り分け、森の中から運び出す作業をおこないました。直径10センチほどある丸太をノコギリを使って切るのは、とても労力がかかります。交代しながらみんなで切りきったときには、大きな達成感を味わうことができました。予想以上にみんなよく働き、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

20日（日）の午前は低学年を対象に木馬のマリオネットを、午後は高学年を対象に木の枝でハンガーをつくる工作のプログラムを行いました。ノコギリや小刀（切り出し）などの刃物の使い方を確認し、実際に道具を使ってみます。高学年の活動では、シェービングホース（削り馬）と呼ばれる木を削る道具や、電動ドリルなども活用し、より自由度の高い活動を展開することができました。身近にある自然物を使ってモノづくりを楽しむ時間は、とても心地よく、子どもたちの感性に触れ、発想力の豊かさを改めて感じられるものとなりました。町の資源を活かした体験プログラムを、より充実させていけるよう、今年も頑張りたいと思います。

